



News Release

2022年6月30日
NITE（ナイト）
独立行政法人製品評価技術基盤機構
北海道支所

「無謀なDIY」が招く危険 ～エアコンの事故～

1. 事故の発生状況

2017年度から2021年度の5年間にNITE（ナイト）に通知された製品事故情報^{※1}のうち、エアコンの事故は、北海道で合計5件ありました。

(1) 年度別事故発生件数

年度別事故発生件数を表1に示します。

表1 年度別事故発生件数（2017～2021年度）

発生年度	合計
2017年	0
2018年	1
2019年	1
2020年	3
2021年	0
合計	5

(2) 被害状況別事故発生件数

被害状況別事故発生件数を表2に示します。

表2 被害状況別事故発生件数（2017～2021年度）^{※2}

被害状況		合計
人的被害	死亡	0
	重傷	0
	軽傷	0
物的被害	拡大被害	2
	製品破損	3
被害なし・不明		0
合計		5

- (※1) 消費生活用製品安全法に基づき報告された重大製品事故に加え、事故情報収集制度により収集された非重大製品事故やヒヤリハット情報（被害なし）を含む。
- (※2) 人的被害と物的被害が同時に発生している場合は、人的被害の最も重篤な分類でカウントし、物的被害には重複カウントしない。製品本体のみの被害（製品破損）に留まらず、周囲の製品や建物などにも被害を及ぼすことを「拡大被害」としている。

2. 主な事件事例

- (1) 2018年6月（北海道、30歳代・女性、使用期間約9年、拡大被害）

事故内容：エアコン付近から出火し、周辺を焼損した。

事故原因：使用者がエアコンを設置した際に、エアコンの電源プラグを延長コードに接続し、さらに接続部が宙に浮いた状態で使用していたため、接続部が緩む等により接触不良が生じて異常発熱し、焼損したものと推定される。
なお、取扱説明書には、「据え付けは販売店又は専門業者に依頼する。延長コードは使用しない。感電や火災の原因になる。」旨、記載されている。

- (2) 2019年12月（北海道、40歳代・男性、使用期間約15年、製品破損）

事故内容：エアコンの室内機と室外機をつなぐ配管を焼損する火災が発生した。

事故原因：設置時に、エアコンの電源コードを他のコードとねじり接続により繋げて延長したため、接続部で接触不良が生じ出火に至ったものと推定される。
なお、取扱説明書には、「電源コードは途中で接続したり、延長コードの使用・他の電気器具とのタコ足配線をしない。感電や火災の原因になる。」旨、記載されている。

3. エアコンの事故を防ぐポイント

- ① エアコンの設置、移設、撤去の工事は、専門の知識や資格を持った業者に依頼する。
- ② エアコンの内部洗浄は、購入先の販売店、メーカーのサービス窓口などに相談する。
- ③ リコール対象製品か確認し、リコール製品をお持ちの場合は、不具合が生じていなくても使用を中止し、お買い求めの販売店や製造・輸入事業者にご相談する。

4. 事故の実験映像について

事故の実験映像及び写真をご希望の場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

なお、映像をご使用の際、クレジットは「製品評価技術基盤機構+NITEのロゴ」としてください。

（本件に関する問い合わせ先）

〒060-0808 北海道札幌市北区北八条西2丁目
札幌第1合同庁舎 4階

独立行政法人製品評価技術基盤機構 北海道支所

担当者：鈴木、佐藤

電話：011-709-2324